

## 大成女子高校の教員研修会の講師を行いました。

8月23日(火)、大成女子高等学校(水戸市五軒町3丁目2-61)の教員研修会の講師を依頼され、「アクティブ・ラーニングと新テスト」について、AL型グループ席で実施しました(90分間・参加者36名)。その際使用した「アクティブ・ラーニング入門」のスライド31枚を掲載します。なお、8月29日(月)には、水城高等学校(水戸市白梅2-1-45)で研修講師を務めます。AL関係のアウトプットは自分自身の勉強にもなります。

### 大成女子高等学校 教員研修会

今後の高校教育改革について2016

#### アクティブ・ラーニング入門

茨城県立並木中等教育学校 校長 中島博司 2016.8.23(火)

このようなセミナーで大切なことは?

- ◆ 自分事化
- ◆ ちかみよく置換力

「アクティブ・ラーニング」とは

- 主体的・対話的で深い学び(文部科学省 2016)
- 略して AL

溝上慎一教授による「アクティブ・ラーニング」の定義(2014)

一方向的な知識伝達型講義を聴くという(受動的)学習を乗り越える意味での、あらゆる能動的な学習のこと。能動的な学習には、書く・話す・発表するなどの活動への関与と、そこで生じる認知プロセスの外化を伴う。

【アクティブ・ラーニングと教授学習パラダイムの転換】(2014)より

---

「アクティブ・ラーニング」の目的は

- 「アクティブ・ラーナー」を育成すること
- 「アクティブ・ラーナー」とは = 能動的学習者

AL型授業の定義は

- 「アクティブ・ラーナー(能動的学習者)」を育成することを目的としている授業は、みなAL型授業である。

AL型授業を大きく2つに分けると

- イベント型
- 通常授業型

---

課題1(Q1)

- ◆ 20年前にはなかったが、現在存在する職業の名称

Q1 校長先生の意見

- ネット通販業
- 介護士
- 気象予報士
- 振り込め詐欺

Q1 筑波大生の意見

- アルバイトの仲介業
- アプリ開発会社
- SNSプロバイダー
- You Tuber

課題2(Q2)

- ◆ あと10年~20年で「消える職業」「なくなる職業」の名称

Q2 校長先生の意見

- 新聞配達業
- ホテルのフロント係
- レストランのウェイレス
- タクシードライバー

---

Q2 筑波大生の意見

- 宅配業者
- スーパーのレジ係
- 写真店
- 本屋・CDショップ

野村総合研究所(2015年12月) オックスフォード大学との共同研究

10年から20年後に、日本の労働人口の約49%が、技術的にはAI(人工知能)やロボット等により代替できるようになる可能性が高いと推計

---

2015年は 高校アクティブ・ラーニング元年

2016年は 高校アクティブ・ラーニング・セカンドステージ

- ◆ セカンドステージの3つのキーワード

---

「アクティブ・ラーニング」★イメージ2016

アクティブ・ラーナー(能動的学習者)の育成

アウトプット 協働 リスペクト

---

◆第1のキーワード **アウトプット** (OUTPUT)

◆第2のキーワード **協働** (COOPERATION)

◆第3のキーワード **リスペクト** (RESPECT) 敬意を払う 尊敬する

---

中島考案「R80」

- 読みは「アールエイティ」
- 「フレキシブル(飛び回り)」と「リストラクター(再構築)」のR
- ALの最後はリストラクターして各自が80字以内で書く
- 2文(2センテンス)で書く、2文を接続詞で結ぶ。

● 目的は、思考力・表現力・論理力の育成 → 学力向上

● そして、「新テスト」における短文記述式問題への対応

---

課題3(Q3)

- ◆ 今なぜ「アクティブ・ラーニング」なのか。そのために私は何が出来るか。

課題3(Q3)のALの進め方

たとえばこのような10分間のALができます。

- 1 ベアワーク+グループワーク(2分)
- 2 ミニホワイトボードに記入(1分)
- 3 共有(提示・発表など)(3分)
- 4 R80(4分) ※50分授業ならAL20です

本日は ベアワーク(2分)そして R80(3分)で実施します

---

「アクティブ・ラーニング」まとめ

- 1 ALが授業をかえる
- 2 ALが生徒をかえる
- 3 そして、ALで学力向上
- 4 さらに、ALで先生方がかわる

---

茨城県立並木中等教育学校の取組

- つくば市にある開校9年目の中高一貫校。校是「Be a top learner!」
- 各年次クラス(男女各80名)で、高い進学実績をあげています。
- 昨年度より全校でALに取り組んでいます。→今年度より本格的に!
- SSH、県指定校として、AL-ICT教育プログラムの研究中です。
- 毎月1週間の授業とよつと見週間(学習指導部担当)があります。
- 全教員が年間1回以上、事前に登録してAL公開授業を実施しています。
- 前期課程はAL50以上が普通、後期課程はAL20を目指しています。
- 生徒・先生方が「アクティブ・ラーナー」として積極的に取り組んでいます。

校長としての取組

- ALについて、セミナー参加・書籍等により研究しています。
- 校長ミニ研修会(職員会議後10~20分程度)で情報提供しています。
- 5月にAL推進整備「ALクイズ」(地方の地産地消)を全校に実施。
- 今秋新着予定 → 生徒会を「ラーニング・プロセス」に改造!
- 先生方に東京での「AL関係セミナー」への参加を推奨しています。
- 高校の授業改革は、ボムアップで!
- 高校の校長は「種蒔き人」だと思っています。
- 学校ホームページに校長通信「並木ドリム」を配信しています。

校長通信「並木ドリム」配信中です。よろしければ 並木中等教育学校HPをご覧ください。

生徒たちの未来のために



本日はあけがたがよいでした。 並木中等教育学校 校長 中島博司